

## 別紙様式第2号

受付番号	
年 度	
分 類	

※記入しない

## 食料システム構築計画承認申請書

## 1. 基本情報

## (1) 申請者（主たる拠点事業者）

名称（ふりがな）		※（法人・団体・個人・その他） いずれかに○をつけてください	
代表者 役職・氏名（ふりがな）			
担当者 役職・氏名（ふりがな）			
所在地			
電話 番号		F A X	
E-mail、HPアドレス			
実績 ・ 設立年（就農年）：平成○年○月○日 ・ 事業内容（栽培内容）：青果物加工、農産物の販売等 ・ 所有施設 ○○工場 【生産量（加工品） ○○パック／年】 ○○センター 【取扱数量（原材料） ○トン／年】 ・ 取扱品目、量 ××× ○トン／年、△△△△ ○トン／年、×× ○トン／年 ・ 主な取引先 AA食品(株)、BBフーズ、(株)CC屋 ・ 活動実績等 ・ 「～ブランド」確立に向けて、県や市町村と連携し、##事業を柱として、生産、流通、販売・PRが一体となった取組みを実施。 ・ 取扱品目のすべての産地でJ G A P 認証取得。 ・ ほぼ 100%を取引契約し、安定的な取引と販売プロモーションに繋げている。 ・ 令和○年には、県育成オリジナル品種である「XX」から精製した独自商品を開発。			

※定款（規約）及び直近３ヵ年の経営状況は別添のとおり。

(2) その他の拠点事業者

(参画者が複数名の場合は、適宜行を追加してください)

名称（ふりがな）		※（法人・団体・個人・その他） いずれかに○をつけてください。	
所在地			
電話 番号		F A X	
E-mail、HPアドレス			
実績 ※ ・ 設立年（就農年） ・ 事業内容（栽培内容） ・ 所有施設【処理量〇〇 t／年】、所有機械 ・ 取扱（栽培）品目、量 ・ 主な取引先                      等、活動実績について記載。			

※参画者との合意が確認できるもの（総会等の議事録等）を添付してください。

※定款（規約）、直近3ヶ年の経営状況（経営収支）がある場合は、添付。

(3) 連携者

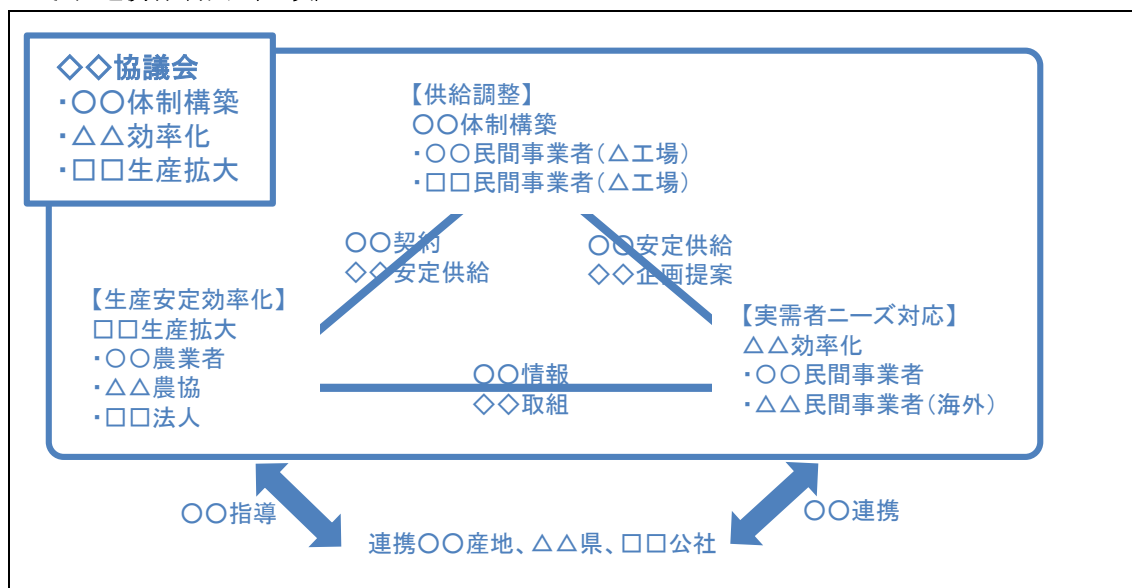
(※参画者が複数名の場合は、適宜行を追加してください)

名称（ふりがな）		※（法人・団体・個人・その他） いずれかに○をつけてください。	
所在地			
電話 番号		F A X	
E-mail、HPアドレス			
実績 ・設立年 平成○年○月○日 ・事業内容 青果用、加工・業務用×××、△△△△等の卸売販売 ・拠点事業者に出荷する品目 ×××、△△△△ 【○○農場】			

- ・作付面積及び出荷量（令和○年度）  
×××：○ha・○トン、△△△△：○ha・○トン、×××：○ha・○トン、
  - ・出荷期間  
×××：○～○月、△△△△：○～○月、×××：○～○月、
  - 【○○農場】
  - ・作付面積及び出荷量（令和4年度）  
×××：○ha・○トン、△△△△：○ha・○トン
  - ・出荷時期  
×××：○～○月、△△△△：○～○月
- ※参画者との合意は、別添「総会の議事録」のとおり  
※定款（規約）及び直近3ヵ年の経営状況は別添のとおり。

※参画者との合意が確認できるもの（総会等の議事録等）を添付してください。  
※定款（規約）、直近3ヶ年の経営状況（経営収支）がある場合は、添付。

## 2 取組連携体制図（必須）



※別添資料での提出も可。

3 到達目標（必須）

【目標名】

①計画に係る供給調整機能を有する施設における取扱数量について現状から 10%以上向上

【目標年度】

令和10年度

【現状及び目標数値】

目標年度の取扱数量（令和10年度） ○トン（○%増）

現状の取扱数量（令和 5 年度） ○トン

○施設全体

（単位・トン）

品目	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度
×××						
△△△△						
合計						

○うち連携者分

（単位・トン）

品目	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度	R 9 年度	R 10 年度
×××						
△△△△						
合計						

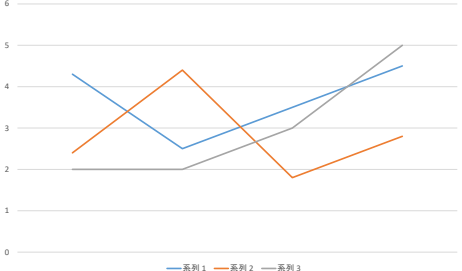
※目標設定にかかる根拠資料は、別添のとおり。

4 対象品目とそのニーズに関する分析（必須）

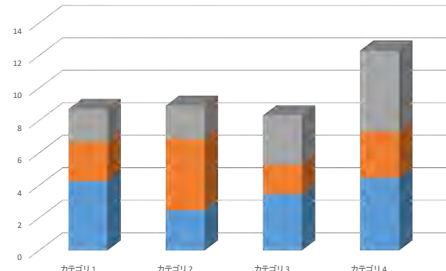
対象品目は、拠点事業者の主要品目である×××、△△△△、××等とする。

近年の XX や YY、ZZ の影響等により、食のスタイルも大きく変わりつつあり、平成○年から令和○年で冷凍食品及び外食の 1 人当たりの購入金額は約○倍（○円→○円）になる等（出典：○「○調査」）、加工業務用野菜等のニーズが高まっている。AA 商品や BB 商品等の販売金額も平成○年から令和○年で約○倍（○円→○円）に増加し（出典：○「○調べ」）、新たなマーケットとして確立されつつある。今後も、外食や食の簡便化の傾向が継続され、カット野菜等の一次加工品だけでなく、キットやパッケージなど最終完成商品の需要が見込まれる。

消費量の推移



商品別の割合



A 社は、デパートやスーパー、外食産業向け「aa」を製造し、また B 社は、「bb」を製造する。

これまで A 社が取り扱う主な野菜は、————であることや~~~~、また、####の観点から多くを県外産や輸入に頼ってきたが、近年、〇〇〇〇の機運もあり、消費者からは、地元産への切り替えが増加している。

## 5 拠点事業者と連携者が協働で安定的な生産・供給に取り組むに当たっての現状と課題 (※拠点事業者及び連携者が実施している 3 つの機能について記載が必須)

### (1) 生産安定・効率化機能

本県の令和〇年農業産出額は〇億円(〇〇統計より)で日本における食糧供給基地である。

野菜分野については、〇億円であり、なかでも気象条件を活かした×××・△△△△を中心とした露地品目の生産が盛んであるが、近年では、農業者の高齢化や担い手不足により農業の労働力不足が深刻となっている。

※本県の基幹的農業従事者：平成〇年 〇人→令和〇年 〇人

※本県の基幹的農業従事者に占める 65 歳以上の割合 平成〇年・〇%→令和〇年・〇%  
(※根拠を明記)

栽培面においては、——による×××等により、これまでの栽培管理・技術では対応できない状況も発生しており、産地の維持・拡大を図るためには、農作業の効率化や単収の向上、データに基づく栽培管理技術の確立が必要である。

また、市場出荷向けの規格における選果選別作業の負担があるが、新たな規格の需要に対応には、さらなる選果選別作業の増加が懸念されるため、選果ライン導入による選果選別作業の軽減が必要である。

(×××生産に係る労働時間：〇時間/10a)

(△△△△生産に係る労働時間：〇時間/10a) (※根拠を明記)

このような状況の中、農地や生産量の維持拡大のため、拠点事業者である A 社は、自治体や連携者である B 社等とともに、

- ・単収と上規格品の増加を目指す研修会の開催
- ・~~~~の開催
- ・####の推進

など、単収増加に繋がる取組みを行っている。

A 社においても〇〇〇〇を導入し、機能の効果について、連携者である B 社等に情報共有し、生産基盤の維持拡大を図っている。

※A 社・〇農場における×××の単収

現状 : 〇トン/10 a

※B 社・〇農場における×××の単収

現状 : 〇トン/10 a

## (2) 供給調整機能

露地栽培の×××・△△△△の生産については、気象要因を受けやすく、出荷時期が不安定であり、ニーズの高い時期の必要量の供給が困難な状況となっている。

また、全国の実需者に安定的に供給するためには、———の確立が必要だが、輸送の許容量に対する過不足が生じることで、計画的な出荷ができない事態を招いている。

特に、×××については、生産者の予冷施設が不足している状況に加え、~~~~作業でも、人手不足により作業が間に合っておらず、####体制の不安定化を理由に、契約の機会を逸してしまうケースもある。

輸送については、C社が、各生産者の集出荷場を回り、集荷したものを同一実需者に出荷しているが、小ロット（出荷量〇kg以下）での配送件数が年間〇割となっており、配送効率が悪く、輸送コスト上昇の一因となっている。さらには、〇〇〇〇の影響で、———もでてきている。

【〇〇向け運賃】平成〇年：〇円/台 → 令和〇年：〇円/台（〇%上昇）（※根拠を明記）

当産地は消費地から遠隔地であることに加え、~~~~の影響もあり、従来〇日目販売としていたところ、〇日目販売に改め、####することで鮮度の保持に努めている。

生産、輸送、鮮度保持の観点から、実需者の要望する時期に供給できないことによって、契約に結びつかない課題を解決するため、供給調整機能拠点を核とした一体的な供給体制の構築と供給調整のできる施設の強化が必要となっている。

## (3) 実需者ニーズ対応機能

気象の影響で、〇〇〇〇が不安定なため、計画的な納品が行えず取引機会の損失となっている。

カット野菜の商品に合わせた規格等、細かなニーズに対応し、有利販売に繋げるため、出荷規格を増やしてきたところであるが、それに伴い、出荷箱の規格も増え、輸送時の積み合わせの効率が悪くなっている。

消費者ニーズとして———の高まりから、~~~~が求められており、見やすく分かりやすい新たなデザインに加え、AA商品やBB商品の開発を行い、連携するデパート等でのPR含め、消費拡大の取組が必要。

（消費者の「食」に求めること：味・〇%、鮮度・〇%、機能・〇% 〇〇調べ）

実需者からは####の理由から、〇〇〇〇ではなく、———の要望が増えているが、本要望に対応するためには、~~~~するなど、####を構築しないとニーズに対応できない。

## (4) その他

※データ情報の収集方法を記載してください

## 6 実施する取組内容（※1つ以上の機能の具備・強化が必須）

### (1) 生産安定・効率化機能

従来の研修会や現地での指導・支援に加え、〇〇〇〇に基づく栽培を支援するため、新規栽培者でも即効性のある————の作成により、XXX、YYY、ZZZの向上を図る。

×××の単収増加が見込める技術の一つである〇〇技術の導入率は、他県と比較して低く、本技術をマニュアル化し、普及していく。

[×××]

作付面積：R5（現状）〇ha→R10（目標）〇ha（〇%増）

〇〇技術導入面積：R5（現状）〇ha→R10（目標）〇ha（〇%増）

※根拠資料は別添〇のとおり

AAとBBの相関等の〜〜〜を活用した####の構築と導入により、データを基にした〇〇や〇〇等の栽培管理・作業を行い、XXとYY、ZZを図る。

選別では、生産者が規格に合わせて選別したものを荷受けし、集出荷貯蔵施設で袋詰めしていたが、今回、新たに〇〇を導入することで、生産者は、————が可能となり、生産者の選別作業の負担軽減を図る。

[各作業の効率化]

(ほ場での作業)

・×××：R5（現状）〇時間/10a → R10（目標）〇時間/10a（〇%削減）

・△△△△：R5（現状）〇時間/10a → R10（目標）〇時間/10a（〇%削減）

※根拠資料は別添〇のとおり

(選別作業)

・×××：R5（現状）〇時間/トン → R10（目標）〇時間/トン（〇%削減）

（選果ライン能力：〇/時間×1日当たりの〇時間稼働＝〇トン/日）

・△△△△：R5（現状）〇時間/トン → R10（目標）〇時間/トン（〇%削減）

（選果ライン能力：〇/時間×1日当たりの〇時間稼働＝〇トン/日）

※根拠資料は別添〇のとおり

生産者においては、データによる作業の効率化と選別作業の負担が減ることで、栽培管理や収穫作業等の時間を確保することができ、反収・品質が高まることが期待できる。

(反収)

・×××：R5（現状）〇トン/10a → R10（目標）〇トン/10a（〇%増加）

・△△△△：R5（現状）〇トン/10a → R10（目標）〇トン/10a（〇%増加）

※根拠資料は別添〇のとおり

(生産者の出荷額(平均))

・×××：R5（現状）〇円/ha → R10（目標）〇円/ha

・△△△△：R5（現状）〇円/ha → R10（目標）〇円/ha

### (2) 供給調整機能

集出荷貯蔵施設の整備により、地域を集約した一体的な供給体制を構築する。

具体的には、〜〜〜することで、####が可能となり、輸送コストの削減と生産者負担の抑制を図る。

天候の影響を受けやすい露地野菜は、〇〇による品質の低下、また、反収の増減があるが、

現施設は予冷能力が〇トンのため、これを超える出荷があると出荷調整ができず、価格下落の要因となる。

そこで————の確立により、出荷量の変動の幅を押さえ、出荷の平準化を図ることで、~~~~を実現し、出荷先との安定した価格での取引に繋げ、####以上の効果を創出、〇〇〇〇を向上させ、生産者の安定経営に繋げる。

輸送方法は————の割合が高いが、収穫期において、~~~~できない場面等生じているが、####を基に効率的な分荷や配送依頼を行うことで、安定的に〇〇〇〇ができ、需要に応じた安定供給を実現する。

天候に左右される輸送量を————し、配送能力を十分に活かし、且つ、実需者ニーズにも対応するため、AAに限らず、BB等を活用したXXやYY配送を行い、輸送コストの抑制を図り、生産者のコスト低減に繋げる。

#### [貯蔵能力]

×××：R5（現状）〇〇㎡（〇トン）→ R10（目標）〇〇㎡（〇トン）

△△△△：R5（現状）〇〇㎡（〇トン）→ R10（目標）〇〇㎡（〇トン）

※現状・ピーク時の出荷量〇トン、不足容量〇トン、

目標・増加出荷量〇トン

#### [配送の生産者負担]

×××：R5（現状）〇円/トン → R10（目標）〇円/トン

△△△△：R5（現状）〇円/トン → R10（目標）〇円/トン

#### [生産者の所得(平均)]

・×××：R5（現状）〇円/戸 → R10（目標）〇円/戸

・△△△△：R5（現状）〇円/戸 → R10（目標）〇円/戸

※根拠資料は別添〇のとおり

### （３）実需者ニーズ対応機能

実需者ニーズの高い時期へのAAやBBのニーズに対応できるよう〇〇システムに配送計画を連動させ、その効果検証を行う。

検証結果をもとに、集出荷貯蔵施設の整備と併せて、XXやYYを進めることで、———の直送ニーズへ対応し、先を見越した商談が可能となり、~~~~ニーズにも対応できることで有利販売に繋げる。

予冷施設導入により、####はもちろん、運送業者と連携することで、〇〇〇〇を強化し、実需者段階での商品の高品質化を図る。

また、————の分析を行い、~~~~を分かりやすく伝える表示など、####により、他産地との差別化を図りつつ、これまで連携してきた〇〇百貨店等で、PRを行い、さらなる消費拡大にも繋げていく。

#### （出荷規格数）

R5（現状）〇規格 → R10（目標）〇規格（〇%削減）

#### （AA商品数）

R5（現状）〇商品 → R10（目標）〇商品（〇%増加）

#### （販促活動）



R5（現状）○回/年 → R10（目標）○回

（４）その他

※本取組により、「５ 現状と課題」がどのように解決されるか記載してください。

## 7 食料システム構築計画（3年以内）（必須）

### （1）事業年別の事業計画

※別添資料での提出も可。補助事業の活用有無に関わらず記載。

	令和6年度	令和7年度	令和8年度
<p>① 生産安定・効率化機能</p> <p>事業主体：〇〇ファーム、JA〇〇、(株)〇〇</p>	<p>[内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出荷予測システムの導入</li> <li>選果ライン整備</li> <li>栽培管理マニュアル作成</li> </ul> <p>[目的・効果]</p> <p>XX・YYの効率化 (作業時間〇%削減)</p>	<p>[内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出荷予測システムを活用した生産指導</li> <li>〇〇マニュアル作成</li> </ul> <p>[目的・効果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>〇〇技術等による生産性向上 (生産量・〇トン)</li> </ul>	<p>[内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出荷予測システムを活用した適時・的確な生産指導</li> <li>〇〇技術普及</li> </ul> <p>[目的・効果]</p> <p>反収の増加と経営所得の安定 (反収・〇円/10a) (経営所得・〇%増)</p>
<p>② 供給調整機能</p> <p>事業主体：(株)〇〇</p>	<p>[内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集出荷貯蔵施設整備</li> </ul> <p>[目的・効果]</p> <p>貯蔵量及び期間の向上 (保管量・〇トン)</p>	<p>[内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集出荷貯蔵施設整備</li> <li>新たな〇〇の検討</li> <li>XX、YY等の整備</li> </ul> <p>[目的・効果]</p> <p>貯蔵及び輸送の効率化 (出荷量・〇ケース)</p>	<p>[内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>集出荷貯蔵施設の活用</li> <li>配送システムの高度化</li> <li>新たな〇〇の実装</li> </ul> <p>[目的・効果]</p> <p>効率的な集出荷体系の確立と経営所得の安定 (経営所得・〇%増)</p>
<p>③ 実需者ニーズ対応機能</p> <p>事業主体：〇〇(株)</p>	<p>[内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AA技術の検証</li> <li>####試験</li> </ul> <p>[目的・効果]</p> <p>嗜好ニーズへの対応 (鮮度保持〇%向上)</p>	<p>[内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>BB技術の検証</li> <li>AA商品開発</li> </ul> <p>[目的・効果]</p> <p>XX及びYYニーズへの対応 (商品・〇品増加)</p>	<p>[内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>BB技術実装</li> <li>新商品の販促</li> </ul> <p>[目的・効果]</p> <p>####の強みを活かした販路拡大。 (販売額〇%増)</p>
<p>④ 連携者の取組</p> <p>事業主体：〇〇ファーム、JA〇〇、〇〇(株)</p>	<p>〇〇ファーム 〇戸で出荷予測システムを導入し、拠点事業者へデータを共有。 JA〇〇 〜〜を整備し、現作業との比較、データ収集を行う。 〇〇(株) ####の試験を行い、生産物の特徴把握と商品化の検討を行う。</p>	<p>〇〇ファーム JA〇〇 XXやYYを活用し、拠点事業者へ安定な出荷を行う 〇〇(株) 拠点事業者や産地と連携し、需要調査の結果に対応したAA商品を開発する。</p>	<p>〇〇ファーム JA〇〇 AAとBBの効率化を活かし、所得安定を図る。 〇〇(株) 本計画の参画者とともに〇〇百貨店での販促を行い、取引の拡大を図る。</p>

(2) 補助事業等の活用見込み(※国及び地方公共団体の事業又は自己資金)  
※7(1)の事業計画に対応して記載

ア ハード事業活用計画(3年以内)

事業実施主体	事業内容	受益戸数・面積 (事業申請時)	予定実施年度	事業費 (税別)	事業名等
㈱〇〇	集出荷貯蔵施設の整備	××× 〇戸・〇ha △△△△ 〇戸・〇ha	R〇年度	〇〇〇円	強い農業づくり総合支援交付金
㈱〇〇	選果ラインの整備	××× 〇戸・〇ha △△△△ 〇戸・〇ha	R〇年度	〇〇〇円	強い農業づくり総合支援交付金

※7(1)の事業計画に対応して記載

イ ソフト事業活用計画(3年以内)

事業実施主体	事業内容	受益戸数・面積 (事業申請時)	予定実施年度	事業費 (税別)	事業名等
〇〇ファーム JA〇〇	出荷予測システムの導入	××× 〇戸・〇ha △△△△ 〇戸・〇ha	R〇年度	〇〇〇円	強い農業づくり総合支援交付金
㈱〇〇	出荷形態の検証	××× 〇戸・〇ha △△△△ 〇戸・〇ha	R〇年度	〇〇〇円	〇〇事業(県単)

※7(1)の事業計画に対応して記載

8 生産者・産地の生産活動の安定・効率化に資する効果(必須)

<p>AAとBBの相関等の〜〜〜を活用した出荷予測システムの構築と導入により、データを基にした〇〇や〇〇等の####作業を行い、XXとYYを図る。</p> <p>[1作あたりの作業割合]</p> <p>×××</p> <p>(現状) 施肥・〇日、農薬散布・〇日、収穫・〇日、選別・〇日、梱包・〇日</p> <p>(目標) 施肥・〇日、農薬散布・〇日、収穫・〇日、選別・〇日、梱包・〇日</p> <p>△△△△</p> <p>(現状) 施肥・〇日、農薬散布・〇日、収穫・〇日、選別・〇日、梱包・〇日</p> <p>(目標) 施肥・〇日、農薬散布・〇日、収穫・〇日、選別・〇日、梱包・〇日</p> <p>〇〇〇〇技術の確立により、―――を図ることで、〜〜〜を実現し、####に繋げる。</p> <p>[鮮度保持期間]</p>
--

×××：（現状）○日間 → （目標）○日間

△△△△：（現状）○ヶ月 → （目標）○ヶ月

[平均取引価格]

×××：（現状）○円/トン → （目標）○円/トン

△△△△：（現状）○円/トン → （目標）○円/トン

○○選別荷受けが可能となり、生産者の選別作業の負担軽減を図る。

[選別作業]

×××：（現状）○時間/トン → （目標）○時間/トン

△△△△：（現状）○時間/トン → （目標）○時間/トン

○○技術による反収の向上を図るとともに、集出荷貯蔵施設の整備を行うことで、**XX** や **YY**、**ZZ** が可能となることで、———を高め、産地としての生産量の拡大を図る。

[反収]

×××：（現状）○トン/10a → （目標）○トン/10a

△△△△：（現状）○トン/10a → （目標）○トン/10a

[作付面積]

×××：（現状）○ha → （目標）○ha

△△△△：（現状）○ha → （目標）○ha

**AA** や **BB** の見直しにより輸送の効率化を図り、○○での流通コストの抑制を図る。

[流通コスト]

×××：（現状）○円/トン → （目標）○円/トン

△△△△：（現状）○円/トン → （目標）○円/トン

これらの取組により、生産者の所得を向上させ、安定的な経営を実現する。

[生産者所得]

×××：（現状）○千円 → （目標）○千円

△△△△：（現状）○千円 → （目標）○千円

※根拠資料は別添○のとおり

## 9 他の事業者・地域への波及効果（必須）

○○の導入により、**AA** や **BB** の効率化も可能となり、———効果の向上が図られる。

これまで当産地では、今回の取組により、新たなモデルとして確立し、**AA** や **BB** でも横展開され、産地全体の生産力向上に繋がっていくと展望している。

また、配送システムについても、○○問題の解決にむけたモデル的な取り組みとして推進していき、####においても発展させていけるよう継続して検証等を進めていく。

作業の効率化により、規模拡大を望む生産者も増え、これまで当地域の問題となっていた **AA** や **BB** に取り組み、本課題の解決にも繋がる。

今回整備する集出荷貯蔵施設では、約○人の雇用を予定しているが、———対策の一助となれるよう、～～～な取り組みとしていく。

※計画のうち、特にモデル性、他者による応用性がある点について記載

## 1 0 都道府県等地方公共団体との連携体制（必須）

〇〇県 農政部 農業〇〇課（TEL： ）

〇〇農業改良普及センター（TEL： ）

〇〇町 農政部 〇〇課（TEL： ）

＃＃＃＃については、県や市と連携体制を構築している。特に、今回の事業活用にあたり、  
———するところであり、今後～～～等も連携して行っていく。

〇〇農業試験場 〇〇部（TEL： ）

生産における様々な技術やシステムについては、〇〇農業試験場のＡＡやＢＢ等を参考に  
推進しているところであり、＃＃＃も実施しているところ。また、育成したオリジナル品種  
を———するため、～～～しているところ。

〇〇県 流通〇〇課（TEL： ）

配送システムの構築や＃＃＃＃協会との協議に際し、———するとともに、～～～につ  
いても共有してもらいながら、推進していく。

県外事務所、営業所 〇〇課（TEL： ）

大消費地市場におけるＡＡやＢＢの確認等を実施し、ＸＸ、ＹＹの改善点等の指導を仰ぎ、  
＃＃＃＃に向け連携している。

〇〇町 〇〇課（TEL： ）

集出荷貯蔵施設の整備に際し、ＡＡやＢＢの調整をいただいた。施設を運用していくなか  
で、今後も〇〇〇〇等連携していく。

※計画に係る施設整備地点、主たる生産活動地域等の都道府県等地方公共団体との連携関係  
について記載

## 1 1 P R 資料（必須）

別紙様式第 2 号－ 1